

病理組織検査解説書

イシハラ チビ

様

検査番号

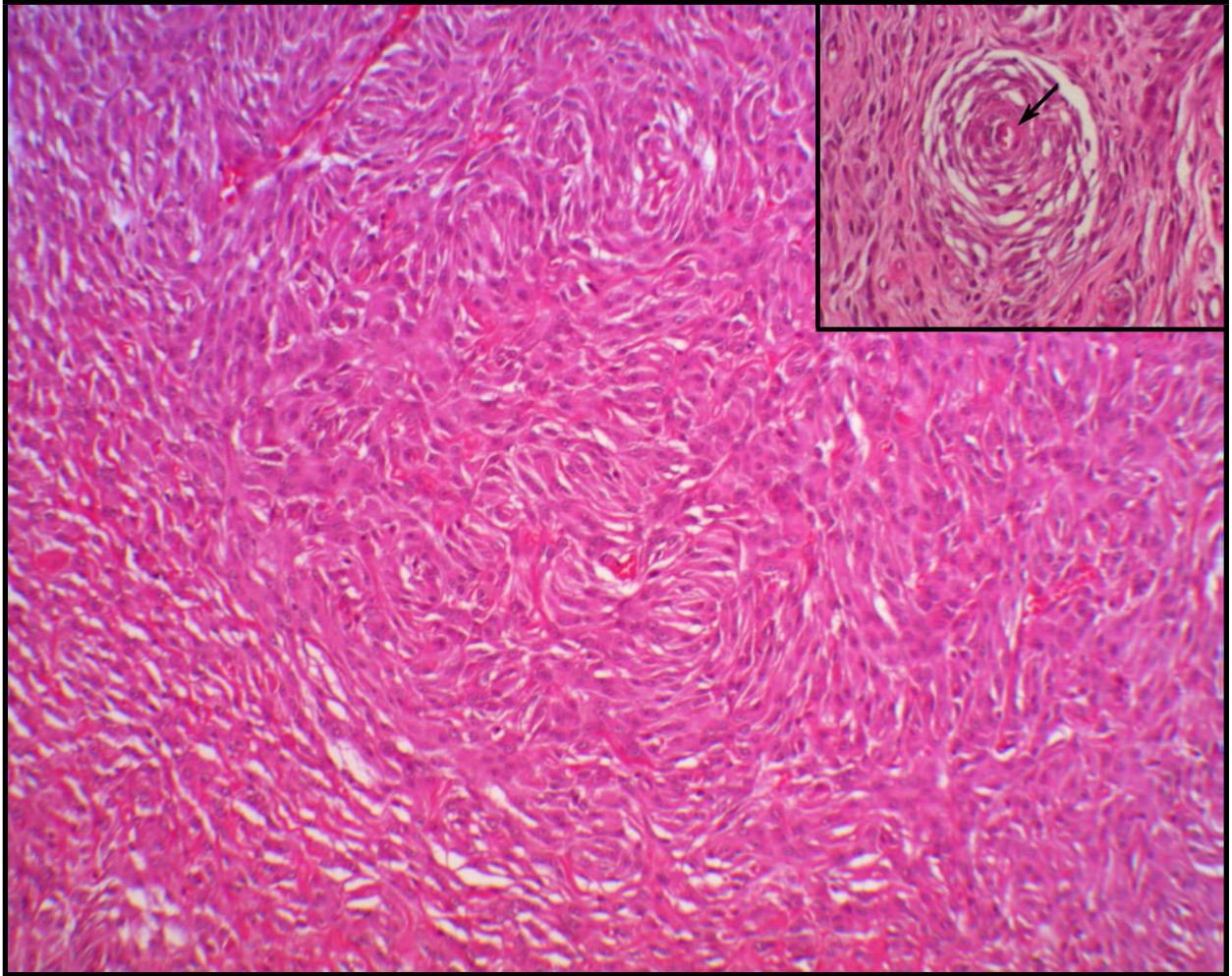
21

検査部位

肘部

診断名

血管周皮腫



写真は肘部腫瘍の中拡大像(×100)です。腫瘍では非上皮性細胞が腫瘍性に増殖しています。腫瘍細胞は紡錘形を呈し、写真に示すような花むしろ状構造を形成しながら増殖しています。これは軟部組織腫瘍であることを示唆する所見です。また挿入図で示すように、血管(矢印)を取り巻く渦巻き状構造の形成も認められます。これは血管周皮腫において認められる所見の一つです。血管周皮腫は軟部組織肉腫(STSs)の範疇の悪性腫瘍であり、血管周皮細胞由来と考えられています。もしくは文献によってPNSTs(末梢神経鞘腫)の一種とみなす見解もあります。本症例は腫瘍細胞が中程度の異型性を示していること、核分裂指数が11/強拡大10視野であること、腫瘍組織の壊死は認められないことから、犬の皮膚STSsの組織学的グレード評価におけるグレード II に分類されます(トータルスコア4)。グレード II の皮膚STSsの辺縁切除(外科的マージンと腫瘍マージンがほぼ一致する)時における再発率は35%、転移率はマージンに関係なく7~33%(複数の報告)とされています。また1997年の研究では、核分裂指数が10-19/強拡大10視野の皮膚STSsの生存期間中央値は532日と報告されています。

参考文献

Tumors in Domestic Animals, ed. Meuten DJ, 4th ed. Iowa State Press, 2002.

Withrow and MacEwen's Small Animal Clinical Oncology, 4th ed. Saunders, an imprint of Elsevier Inc, 2007.

M, M. Dennis et al: Prognostic Factors for Cutaneous and Subcutaneous Soft Tissue Sarcomas in Dogs. Veterinary Pathology 48: 73-84, 2011

病理組織診断

CAPITAL